

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-31 保健衛生運営事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門				89	保健衛生運営事業		
主管課	市民健康課		関連課		782	保健衛生運営事業		
分野名	健康福祉				92	献血事業		
目標 (目標値)	地域の関係団体との協議により市民の健康衛生に対する意識の啓発を促して疾病の予防を図る。							
人口等のデータ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源状況	決算値	98,123千円	283,098千円	指標と評価				
	(国・県)	490千円	0千円					
	(負担金等)	0千円	0千円					
	(一般財源)	97,633千円	283,098千円					
	人員配置数	0.6人	0.6人					
	人件費	5,565千円	5,619千円					
	協働のパートナー	献血協力団体 医師会	献血推進会議 献血協力団体 医師会					
事務事業運営経費	総事業費	103,688千円	288,717千円	指標	鎌倉市内での分娩割合を高める。			
	市民1人当りの経費	587円	1,636円	評価	○			
	対象者1人当りの経費	—	—	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名					目標値	実績値	
	目標					20年度	50%	31%
	実績					21年度	50%	40%
						22年度	50%	
						23年度	55%	
						最終年度 (年度)	—	
創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (産科診療所)診療所の安定的な運営を図るためには、出産取扱数を増やすことが必要であり、増床や助産所(併設)も検討していかなければならない。 (献血)献血量が不足する中、200mlは、血液センターでの需要が無いということで本人の実施意思があるにも関わらず、断っている状況である。献血車1台あたりの必要量の確保が難しい、という理由で献血回数が減少している。 おかれている経営環境が厳しいため、企業等の献血事業協力が得にくくなっている。また、平成21年度は新型インフルエンザの流行があり、献血実施を取りやめたところもあった。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (産科診療所)21年度の出産人数は235人、外来患者数は5,684人を診ることができた。 (献血)一日に1箇所が必要量の確保が難しいときは、午前午後で二つの場所をまわるようにしてもらっている。鎌倉市で見つからないときは、市町村をまたいで実施してもらう。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (産科診療所)平成22年度は更に分娩人数を伸ばすことが可能と見込んでいるが、最大でも360人程度であり、これ以上の増加を考えるならば、増床や助産所の併設が、課題となる。 (献血)本人が200mlの献血意思があるにもかかわらず、需要がないという理由から血液センターで断っている。 協力企業の従業員減少により、企業の従業員の協力が得にくくなっている。 新型インフルエンザの流行等の突発事態により、献血実施をとりやめることがある。						
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (産科診療所)鎌倉市医師会と調整しながら、増床を行い分娩件数を更に伸ばす努力を行っていく。 (献血)献血を希望する人の意志を無にしない対応を、血液センターにしてもらうよう働きかける。 1箇所が必要量の確保が難しいときは、積極的に別の場所をまわり献血を実施してもらうようにする。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	(産科診療所)安定的運営に向け、鎌倉市医師会と協議を進め、増床等の検討を進めたい。 (献血)新型インフルエンザ、不況等、献血をめぐる状況は大変厳しい。協力者へのPRIにさらに力をいれたい。		評価結果	改善の必要性	(産科診療所)安定的運営に向け、分娩件数を伸ばすため、鎌倉市医師会と協議を進め、増床等の検討が必要である。 (献血)厳しい状況ながらも協力してもらえるよう、PRIしていく必要がある。		
A	有			A	有			
課長名		市民健康課長 相川 誉夫		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子		